

高校生自作こま 18チームが熱戦

松本大

高校生が自作のこまを戦わせる「第一回県高校コマ大戦」が、松本市新村の松本大で開かれた。六校十八チームの工夫を凝らしたこまが、一対一で熱戦を繰り広げ、上田千曲(上田市)のCチームが優勝を飾った。

こまは直径二センチ以内であれば素材や形状は自由。ややすり鉢状の土俵(直径二十五センチ)の上で戦い、相手を土俵の外にはじき出すか、相手より長く回り続けられれば勝ちになる。出場したのは飯田市の各校で、それぞれの



自作のこまで対戦する高校生ら＝松本市の松本大で

三チームがトーナメントで競った。

行事の「はっけよい、残った」の合図に合わせて土俵の上でこまを回し、勝敗が決まるとガッツポーズを見せる生徒もいた。

コマ大戦は、二〇一二年に横浜市内の有志が初めて開いて人気広がった。松本地域では松本、安曇野、塩尻市の商工団体などが主催して一三年から開催し、これまでは企業も対象だったが、今回は工業人の育成を狙って県内の高校生に限定した。